

夢に挑戦する相産づくりを目指して

○8月19日(木)・20日(金)第60回兵庫県立学校養護教諭研究大会・夏季実務講習会がイーグレひめじでありました。県副会長の立場で参加しました。毎年、異なる講師に依頼して実施されており、養護教諭の使命感、レベルの高さと持続の尊さに感激しました。講師は研究会のメンバーの人脈で決定されて



います。印象に残った言葉(含;講演後)を書きます。

<写真;イーグレ姫路より見た姫路城>

1 講演Ⅰ 演題「学校における救急医療」神戸市立医療センター中央市民病院 佐藤眞一救急部部長

- (1) 危機管理とは2次災害を起こさないことである。
- (2) 血液に何が入っているかわからない。血液汚染を防ぐためにビニール手袋をはめる。
- (3) 救急救命士は医師の処方で動くので、その責任は全て医師にある。

2 講演Ⅱ 演題「DV防止に向けた教育の推進」兵庫県教育委員会 沖汐守彦人権教育課長

- (1) DVに対する対応で「自分が被害にあっている場合」
自分を責めない。一人で解決をしようとしなくて、必ず誰かに相談する。
- (2) ユーメッセージをアイメッセージにかえる
(例) 遅いよ、20分も遅刻だよ。
→ 時間通りに来ないから、何かあったんじゃないかと心配したよ。
- (3) 児童虐待防止等に関する法律
第5条;早期発見 第6条;通告義務
第7条;通告した者を特定させるものをもらしてはならない(悲惨な具体例を交えて説明)

3 講演Ⅲ「発達障害のある生徒とその家族に対する学校あげでの取り組み;養護教諭のできること」

関西国際大学院教授 藤田継道子育て支援センター長

- (1) 教室の実際の人数 アメリカ21人/クラス 日本28人/クラス 理想的な人数12人(男子6名、女子6名)/クラス
- (2) 記録をとり続ける。医学の世界(当たり前)→臨床の世界(当たり前)→教育の世界(当たり前)になってくる)

- (3) 映画俳優のトム・クルーズは字が読めない。字を読む能力が欠落している。しかし、人の言葉を聞いて覚えることはできるので、せりふを読んでもらって覚えて活躍している。特別支援的な要素があっても世界で活躍している人はいくらでもいる（例を挙げながら）。

4 講演Ⅳ「生きる力を育むEQ（心の知能指数）」

米国NLP協会公認マスター・プラクティショナー 廣瀬公一日本人財育成協会理事長

- (1) 自分の体験に踏まえて（自分が落ち込んでいるとき）

母親より「今まで明けない夜はない。夜明け前が一番、厳しいんや。公一、ばたばたするな。自分を信頼せい。天はな、その人間に越えられへんような課題は絶対に与えへん。ひがみつぼうなつとる。親が望むことは、あんたが幸せやったらええんや。」と言われた（藤村；胸にジーンとくる）。

それから、今まで「当たり前」（＝感謝はない）と思っていたことが、「有り難い」（＝感謝する）と思えるようになった。友達からも「昔は切れ味鋭かった」が今は「温かい」と言われるようになった。

- (2) 運を高める9つの言葉（毎朝、鏡の前で言っている。）

- ① ありがとう（感謝の心）
- ② しあわせ（を感じる心）
- ③ ついで（プラス思考）
- ④ 大好き
- ⑤ 愛してる（＝愛される）
- ⑥ 嬉しい（喜びを引き寄せる）
- ⑦ 楽しい
- ⑧ 大丈夫、大丈夫
- ⑨ 素晴らしい（感動）

- (3) 「ありがとう」が大事

生まれてくれてありがとう

生きてくれてありがとう

うちの子でいてくれてありがとう

うちの学校にいてくれてありがとう

5 講演Ⅴ「養護教諭の法的責任」 群馬大学院 入澤充教授

- (1) 教員の中ではどこの行っても養護教諭が一番熱心です。養護教諭のためならどこへでも行きます。

- (2) KKD（経験・勘・度胸）だけではなく科学・理論（サイエンス・セオリー）を加味した指導方法を心がける。

その他、県教育委員会より保健体育課より宮脇智子・大迎規宏指導主事の講義・説明がありました。来年度は宮脇主事の時間を1時間以上にします（今回は40分）。

私は閉会の辞で、以下のようにお礼を言いました。

「①これからは教科の先生と養護の先生が学校の2本柱になる時代に入ってきている。②養護の先生方が2次災害に遭わないこと（佐藤講師）と、コーディネーター役が取れる力と問題解決指向のカウンセリングができる力を身に付けて欲しい（藤田講師）ことを願います。③校長のリーダーシップで学校が変わることは真実で、私は校長としてがんばる。西脇工業の渡部陸上部（元）監督が県ワースト5の学校を、陸上部を通して変えた。姫路工業の福井野球部（元）監督が姫路市内ワースト2の学校を、野球部を通して変えた。養護の先生が保健室を通して学校を変えていって欲しい。④これだけのレベルの高い講習会を60年間持続して開催されていることに感謝と感激している。皆さんのご協力とスタッフの努力に感謝する。」



○8月23日（月）野球部の秋季県大会西播磨地区予選が赤穂城南緑地公園球場であります。本校は佐用高校に勝利し、山崎高校に負けたために敗者復活の第1試合が写真の相生高校とでした。6対1で勝ちましたが、あと、伊和・赤穂高校に勝たないと、県大会に出場できません。野球部の皆さん、頑張ってください。

<試合終了時；赤穂城南緑地公園球場にて>